

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464101	事務事業名	高齢者等はつらつ教育事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J000847	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

事業の目的	高齢者を含めた「地域共生社会」実現の一環として、高齢者の学習機会の充実と社会参加活動の促進を図ることを目的として実施する。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	当初予算	R03年度	R04年度								
事業概要	地域の高齢者が「創り」、「教え」、「学び」、高齢者を「活かす」ための講座を開設。またこれらの講座の受講生が講座内で学んだ知識を活かしボランティア講師として活躍できるよう進めていく。	社会教育法	活動指標	受講者総数	活動実績	人	R03年度			R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		補正予算						
					当初見込	人								前年度から繰越						
														翌年度へ繰越						
														予備費等						
											計	416		397						
根拠法令、 関係計画、 通知等	算出根拠	総費用／受講人数	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	執行額	257	311	歳入予算	R03年度		R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)					
								執行率(%)	62%	78%		国庫支出金								
												県支出金								
												使用料・手数料								
												分担金・負担金等								
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)	活動指標	受講者総数	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	財産収入			歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途						
								繰入金				報償費	371	365						
								諸収入	169	150		講座受講料	需用費	45	32	消耗品費、食糧費(講師用飲料水)				
								繰越金				旅費	0	0						
								地方債												
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標	受講者総数	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	一般財源	247	247	計	416	397							
								計	416	397										
単位当たり コスト	算出根拠	総費用／受講人数	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	投入工数 (単位:人)	正職員	0	総費用合計(千円)	2,240	2,240							
								再任用	0	総費用(千円)		2,497	2,551							
								会計年度月額	0.8			0.8								
								会計年度日額	0											
								計	0.80			0.80								
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標	ボランティア派遣件数をR8年度までに30件	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	人件費等の修正(千円)				総費用(千円)※人件費等修正後	2,497	2,551						
								成果実績	件	7	20									
								目標値	件	20	20		25	30						
								達成度	%	35	100									
								補足説明	ボランティア参加型講座の受講生がボランティア講師として活動を行う。											
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標	ボランティア派遣件数	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	根拠として用いた統計・データ名(出典)												
								成果実績												
								目標値												
								達成度	%											
								補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)											

シートNo.	0464101	事務事業名	高齢者等はつつ教育事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J000847	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
			○	4年度はコロナ禍でありながら、開催を待ち望む人が多かった。	○	3年度はコロナ禍により1ヶ月遅れの開講となり、開催を待ち望む人が多かった。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ボランティア講師として地域や社会で活躍できるよう、運営している講座もあり、民間等ではできない事業である。	○	ボランティア講師として地域や社会で活躍できるよう、運営している講座もあり、民間等ではできない事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	講座を通じて身に付けた知識や技能等を地域や社会での活動に生かせるよう、生涯学習を推進しており、優先度は高い。	○	講座を通じて身に付けた知識や技能等を地域や社会での活動に生かせるよう、生涯学習を推進しており、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した予算費目となっている。	○	事業目的に即した予算費目となっている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開講が遅れ、実施回数が少なくなったため。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	講師選定の際は、単価が低くかつ有意義な方を探したり、ボランティア講師を活用したりしている。	○	講師選定の際は、単価が低くかつ有意義な方を探したり、ボランティア講師を活用したりしている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	令和4年度についてはコロナ禍により活動があまりできなかったが、今後はまた以前のように活動できるよう期待したい。	△	令和3年度についてはコロナ禍により活動があまりできなかったが、今後はまた以前のように活動できるよう期待したい。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	令和4年度についてはコロナ禍でありながらボランティア派遣の回数が昨年度に比べて急増した。	△	令和3年度についてはコロナ禍によりボランティア派遣の回数が少なかったが、今後は増えていくことに期待したい。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		-		-	
	課名					
	連番					
	事業名					
	点検・改善結果	点検結果	人生100年時代をより豊かに生活していくため、生涯学習の必要性がより一層高まっているので、今後も事業の継続を行うもの。		人生100年時代をより豊かに生活していくため、生涯学習の必要性がより一層高まっているので、今後も事業の継続を行うもの。	
		改善の方向性	受講生が高齢化してきており、新規の受講生もあまり増えていないので、より身近な場所での開催を検討していく。		受講生が高齢化してきており、新規の受講生もあまり増えていないので、より身近な場所での開催を検討していく。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464102	事務事業名	女性再チャレンジ支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J000846	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

事業の目的		「女性活躍社会」実現の一環として、再就職、起業や社会参加のための講座を開設し、誰もがいつでも積極的・計画的にチャレンジすることを目的としている。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	R03年度		R04年度						
事業概要	出産や育児、介護等でいったん離職し、再び社会でチャレンジしようとする女性に対し、準備・情報収集・能力開発の支援を実施。			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		当初予算	967	854						
										補正予算								
										前年度から繰越								
										翌年度へ繰越								
										予備費等								
										計	967	854						
執行額									426	659								
執行率(%)									44%	77%								
根拠法令、 関係計画、 通知等	社会教育法							歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)						
								国庫支出金										
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)	活動指標	受講者総数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	県支出金									
									使用料・手数料									
									分担金・負担金等									
									財産収入									
									繰入金									
									諸収入		132	76	講座受講料					
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	繰越金									
									地方債									
									一般財源		835	778						
									計		967	854						
									歳出予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な使途					
									報酬		930	813						
単位当たり コスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度			需用費		25	33	消耗品費、食糧費(講師用飲料水)					
									旅費		12	8						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標	マルシェ等への出店回数をR8年度までに20回		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R05年度	目標最終年度 R08年度										
	成果指標	マルシェ等への出店回数		目標値	回	12	12	15	20									
										達成度	%	50	125					
補足説明		おうち起業応援講座の卒業生がマルシェ等へ出店し活動を行う。																
根拠として用いた統計・データ名(出典)																		
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	正職員		0							
									再任用		0							
									会計年度月額		0.8	0.8						
	会計年度日額		0															
	計		0.80	0.80														
	人件費合計(千円)		2,240	2,240														
成果指標				単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	総費用(千円)		2,666	2,899						
									人件費等の修正(千円)									
									総費用(千円)※人件費等修正後		2,666	2,899						
補足説明																		
根拠として用いた統計・データ名(出典)																		

シートNo.	0464102	事務事業名	女性再チャレンジ支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J000846	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明		
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	女性が活躍できる社会を実現するため事業を行っており、ニーズも高い。	○	女性が活躍できる社会を実現するため事業を行っており、ニーズも高い。	○	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	地域や民間等でも実施されている講座もあるが、市主催ということもあり、安価で安心して受講いただいている。	○	地域や民間等でも実施されている講座もあるが、市主催ということもあり、安価で安心して受講いただいている。	○	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	講座を通じて身に付けた知識や技能等を地域や社会での活動に生かせるよう、生涯学習を推進しており、優先度は高い。	○	講座を通じて身に付けた知識や技能等を地域や社会での活動に生かせるよう、生涯学習を推進しており、優先度は高い。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	－	－		－	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した予算費目となっている。	○	事業目的に即した予算費目となっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、募集定員を少なくしたため。	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施回数が少なくなったため。	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	－		－		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	講師選定の際は、単価が低くかつ有意義な方を探し依頼している。	○	講師選定の際は、単価が低くかつ有意義な方を探し依頼している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	4年度はコロナ禍により、定員を少なくして実施した講座もあり、数値は低いが今後は増えていくことに期待したい。	△	3年度はコロナ禍により、実施できなかった講座や定員を少なくして実施した講座もあり、数値は低いが今後は増えていくことに期待したい。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	－		－		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	講座の卒業生は起業をする等、社会参加されている方が多数で成果は上がっている。	○	講座の卒業生は起業をする等、社会参加されている方が多数で成果は上がっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－		－		
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	－		－		
関連事業	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果	4年度はコロナ禍により、定員を少なくして実施した講座もあるが、ニーズが高いため、今後も女性の再チャレンジを支援していく。		3年度はコロナ禍により、実施できなかった講座や定員を少なくして実施した講座もあるが、ニーズが高いため、今後も女性の再チャレンジを支援していく。		
	改善の方向性	女性が活躍できる社会を実現するため、今後もニーズに合った魅力的な内容で支援を継続していく。		女性が活躍できる社会を実現するため、今後もニーズに合った魅力的な内容で支援を継続していく。		

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464103	事務事業名	成人教育事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J000843	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

事業の目的		市民の趣味・教養の広がりや知識・技術の向上を目的として実施							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度		
事業概要		語学講座・パソコン講座・男の料理教室・小郡ゼミの実施									当初予算		1,004	1,000	
											補正予算				
											前年度から繰越				
											翌年度へ繰越				
											予備費等				
											計		1,004	1,000	
									執行額		724	804			
									執行率(%)		72%	80%			
根拠法令、 関係計画、 通知等		社会教育法							予算内訳 (単位:千円)	歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)	
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標		受講者総数				国庫支出金							
								県支出金							
								使用料・手数料							
		分担金・負担金等													
		財産収入													
		繰入金													
		諸収入		967	964	講座受講料									
		繰越金													
		地方債													
		一般財源		37	36										
計		1,004	1,000												
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)		活動指標						歳出予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な使途			
								報償費		863	863				
								需用費		138	134	消耗品費、食糧費(講師用飲料水)			
		委託料		0	0										
		旅費		3	3										
計		1,004	1,000												
単位当たり コスト		算出根拠				単位		R03年度		R04年度					
								R03年度		R04年度					
								R05年度		R06年度					
総費用／受講人数		単位当たり コスト		円	6,340.8	4,863.6									
		計算式		X/Y	3,684,000 / 581	5,243,000 /1,078									
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		講座の満足度をR8年度までに80%				単位		R03年度		R04年度	中間目標 R05 年度	目標最終年度 R08 年度	
								R03年度		R04年度					
								R05年度		R06年度					
		成果指標		講座の満足度				成果実績		87		88			
								目標値		%	70	70	70	80	
		達成度		%	124	125									
補足説明		講座終了時のアンケートによって満足度を計る(令和3年度より)							投入工数 (単位:人)	正職員		0.4	0.6		
根拠として用いた 統計・データ名(出典)										再任用		0			
										会計年度月額		0			
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果目標				単位		R03年度		R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度			
								R03年度		R04年度					
								R05年度		R06年度					
成果指標								目標値							
								達成度		%					
補足説明									計		0.40	0.60			
									人件費合計(千円)		2,960	4,440			
									総費用(千円)		3,684	5,244			
									人件費等の修正(千円)						
									総費用(千円)※人件費等修正後		3,684	5,244			
根拠として用いた 統計・データ名(出典)															

シートNo.	0464103	事務事業名	成人教育事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J000843	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

2/2ページ

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明		
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	4年度は当初予定どおり講座を開講することができ、申込も多かった。	○	3年度はコロナ禍により開講が遅れ、開催を待ち望む人が多かった。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	△	地域や民間等でも実施されている講座もあるが、市主催ということもあり、安価で安心して受講いただいている。	△	地域や民間等でも実施されている講座もあるが、市主催ということもあり、安価で安心して受講いただいている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	△	講座を通じて身に付けた知識や技能等を地域や社会での活動に生かせるよう、生涯学習を推進しており、優先度は高い。	△	講座を通じて身に付けた知識や技能等を地域や社会での活動に生かせるよう、生涯学習を推進しており、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-		
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	△	市の事業であり、営利を目的としていないため、受講料をあまり高くは設定できない。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した予算費目となっている。	○	事業目的に即した予算費目となっている。	
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開講が遅れ、実施回数が少なくなったため。	
	繰越額が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	講師選定では単価が安く、なおかつ有意義な講義をされる方に依頼する等、工夫している。	○	講師選定では単価が安く、なおかつ有意義な講義をされる方に依頼する等、工夫している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	講座によって受講申込者に差がある。	△	講座によって定員割れや定員オーバーなど受講申込者に差がある。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	講座受講生にとっては、満足するものとなっている。	○	講座受講生にとっては、満足するものとなっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-		
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-		-		
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果		人生100年時代をより豊かに生活していくため、生涯学習の必要性がより一層高まっているので、今後も事業の継続を行うもの。		人生100年時代をより豊かに生活していくため、生涯学習の必要性がより一層高まっているので、今後も事業の継続を行うもの。	
	改善の方向性		アフターコロナを考慮し、魅力ある講座となるよう努めていく。		講座により申込者数に差があるので、魅力ある講座となるよう努めていく。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464104	事務事業名	生涯学習センター施設・設備改修事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J004029	開始年度	平成27年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P404A	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的	公共の社会教育施設として、利用者が健全な活動ができるよう来館者の安全確保をし、市民の生涯学習に大きく貢献するため。								予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況		R03年度	R04年度			
											当初予算	2,784	2,391			
事業概要	利用者に安全・快適な環境を提供するため、生涯学習センターの改修や、各種設備の修繕等を行う。										補正予算					
											前年度から繰越					
											翌年度へ繰越					
											予備費等					
											計	2,784	2,391			
執行額	2,472	2,247														
執行率(%)	89%	94%														
根拠法令、 関係計画、 通知等	社会教育法										予算内訳 (単位:千円)	歳入予算	R03年度		R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
									国庫支出金							
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)	活動指標	施設・設備の改修箇所		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	県支出金							
			活動実績	件	15				使用料・手数料							
			当初見込						分担金・負担金等							
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	財産収入							
			活動実績						繰入金							
			当初見込						諸収入							
単位当たり コスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度										
	総費用／施設・設備の改修箇所			単位当たり コスト	円	263,466.6										
				計算式	X/Y	3,952,000 /15										
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	繰越金							
	成果指標		成果実績						地方債							
			目標値						一般財源	2,784	2,391					
			達成度	%					計	2,784	2,391					
	補足説明	施設整備等のため、定量的な目標が設定できない。								歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途			
根拠として用いた 統計・データ名(出典)									工事請負費							
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	需用費	2,784	2,391					
			成果実績													
			目標値													
	成果指標		達成度	%												
			補足説明													
	根拠として用いた 統計・データ名(出典)															
	投入工数 (単位:人)									計	2,784	2,391				
										正職員	0.2	0.1				
										再任用	0	0				
会計年度月額										0	0					
会計年度日額										0	0					
人件費合計(千円)										0.20	0.10					
総費用(千円)										1,480	740					
人件費等の修正(千円)										3,952	2,987					
総費用(千円)※人件費等修正後																
										3,952	2,987					

シートNo.	0464104	事務事業名	生涯学習センター施設・設備改修事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J004029	開始年度	平成27年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P404A	作成責任者 生涯学習課長

2/2ページ

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	利用者が健全な活動ができるよう来館者の安全確保することは公共施設としての役割であり、市民の生涯学習ニーズを的確に反映している。	○	利用者が健全な活動ができるよう来館者の安全確保することは公共施設としての役割であり、市民の生涯学習ニーズを的確に反映している。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	公共の社会教育施設として生涯学習センターが位置付けられ、公的に学習環境の整備を行う必要がある。	○	公共の社会教育施設として生涯学習センターが位置付けられ、公的に学習環境の整備を行う必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	生涯学習センターは開館より30年経過しており、経年劣化などにより様々な設備で修繕が必要となっている。緊急性の高いものから修繕を行っている。	○	生涯学習センターは開館より25年以上経過しており、経年劣化などにより様々な設備で修繕が必要となっている。緊急性の高いものから修繕を行っている。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○		○	
事業の効率性	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-		-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		-	
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		-		-	
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果		今回の施設・設備改修事業において、緊急性の高い施設・設備の改修を実施することで、利用者に安心・安全な環境の提供ができた。		今回の施設・設備改修事業において、緊急性の高い施設・設備の改修を実施することで、利用者に安心・安全な環境の提供ができた。	
	改善の方向性		今後も必要に応じ、緊急性の高い施設・設備の改修に努めていく。		今後も必要に応じ、緊急性の高い施設・設備の改修に努めていく。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464105	事務事業名	地域学校協働活動事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J002073	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長
								1／2ページ

事業の目的	地域人材の協力を得て、学校支援や放課後等の学習支援・体験活動を実施する地域学校協働活動を推進し、地域社会全体の教育力の向上を図る。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	当初予算	2,705	2,882	
										補正予算			
										前年度から繰越			
										翌年度へ繰越			
										予備費等			
										計	2,705	2,882	
										執行額	1,557	1,842	
								執行率(%)	58%	64%			
事業概要	各小学校区に1名の地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民等と学校との情報の共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の支援を行う。							予算内訳 (単位:千円)	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)	
									国庫支出金				
									県支出金	1,803	1,921		
									使用料・手数料				
									分担金・負担金等				
									財産収入				
									繰入金				
									諸収入				
									繰越金				
									地方債				
									一般財源				
										902	961		
									計	2,705	2,882		
									歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途	
									報酬	2,217	2,420		
									需用費	130	104	消耗品費	
									役務費	358	358	通信運搬費	
								計	2,705	2,882			
								正職員	0.2	0.3			
								再任用	0				
								会計年度月額	0				
								会計年度日額	0				
								計	0.20	0.30			
								人件費合計(千円)	1,480	2,220			
								総費用(千円)	3,037	4,062			
								人件費等の修正(千円)					
								総費用(千円)※人件費等修正後	3,037	4,062			

シートNo.	0464105	事務事業名	地域学校協働活動事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	社会教育係
事業No.	J002073	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4041	作成責任者 生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	4年度についてもコロナ禍により活動が難しい時期もあったが、学校からのボランティア依頼の要望、またボランティア活動をする側からの学校の役に立ちたいという思いにも十分応えることができ、ボランティア活動件数もコロナ禍以前の件数に徐々に戻ってきた。	○	3年度についてもコロナ禍により活動が難しい時期もあったが、学校からのボランティア依頼の要望、またボランティア活動をする側からの学校の役に立ちたいという思いにも十分応えることができ、2年度より多くのボランティア活動をしてもらうことができた。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	ボランティアする側の生きがいづくり、小中学生と地域の方々との交流、また教職員の働き方改革に寄与しており、優先度が高い。	○	ボランティアする側の生きがいづくり、小中学生と地域の方々との交流、また教職員の働き方改革に寄与しており、優先度が高い。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	無	-	無
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	無			
競争性のない随意契約となったものはないか。		無	無			
事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した予算費目となっている。	○	事業目的に即した予算費目となっている。
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、推進員の活動が制限されたため。	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、推進員の活動が制限されたため。
	繰越額が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	-	-
	事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	令和4年度についてもコロナ禍以前のような活動は難しかったが、学校から依頼があった分については十分応えることができた。	△
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	-	-	
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	ボランティアをする側、受ける側、依頼する側、それぞれにとって満足するものとなっている。	○	ボランティアをする側、受ける側、依頼する側、それぞれにとって満足するものとなっている。	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		-		-	
	課名					
	連番					
	事業名					
	点検・改善結果	点検結果	令和4年度はコロナ禍以前のような活動に徐々に近づき、令和3年度より多くのボランティア活動を行うことができた。引き続きニーズはある。		令和3年度についてもコロナ禍以前のような活動は難しかったが、2年度より多くのボランティア活動を行うことができた。引き続きニーズはある。	
		改善の方向性	アフターコロナによる学校支援の需要を把握し、学校と連携を図り、活動を行っていく。		今後も感染症対策を十分やりながら、学校と連携を図り、活動を行っていく。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464201	事務事業名	芸術文化の振興啓発事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000832	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者 生涯学習課長

事業の目的		子どもたちに伝統文化の継承を「ふるさと(郷土)のよさ」をに学ぶ・触れるといった体験活動をととして推進する。また、芸術文化に取り組む市民の活動を支援することで、地域の文化レベルの向上と振興を図る。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	当初予算	R03年度	R04年度			
											540	540				
											補正予算					
											前年度から繰越					
											翌年度へ繰越					
事業概要		伝統文化ほんもの講座: 文化協会の講師陣が中学1年生を対象に、伝統文化(水墨画、生花、茶道、謡曲など)の体験授業を2日間に渡って行う。 全国大会補助金: 文化大会等参加補助金交付要綱に基づき補助金交付する。							予備費等							
									計		540	540				
									執行額		197	366				
									執行率(%)		36%	68%				
根拠法令、 関係計画、 通知等		小郡市教育大綱、小郡市教育振興期基本計画、文化大会等参加補助金交付要綱							歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)			
									国庫支出金		6					
									県支出金							
									使用料・手数料							
									分担金・負担金等							
									財産収入							
									繰入金							
									諸収入							
									繰越金							
									地方債							
									一般財源		534	540				
									計		540	540				
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標	伝統文化ほんもの講座実施 学校の検討		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込							
										活動実績		校	2	2		
										当初見込		校	2	2		
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)		活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込							
										活動実績						
										当初見込						
単位当たり コスト		算出根拠		単位	R03年度	R04年度										
							単位当たり コスト		千円	468.5	693.0					
							計算式		X/Y	937/2	1,386/2					
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標	伝統文化ふるさと講座参加 者数をR11年度まで継続的 に160人		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R7 年度	目標最終年度 R11 年度							
										成果実績		人	130	116	-	-
										目標値		人	160	160	160	160
		達成度		%	81	73	-	-								
補足説明																
		根拠として用いた 統計・データ名(出典)														
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度							
										成果実績						
										目標値						
		達成度		%												
補足説明																
		根拠として用いた 統計・データ名(出典)														
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度							
										成果実績						
										目標値						
		達成度		%												
補足説明																
		根拠として用いた 統計・データ名(出典)														
投入工数 (単位:人)		正職員			0.1	0.1										
		再任用			0											
		会計年度月額			0	0.1										
		会計年度日額			0											
		計			0.10	0.20										
		人件費合計(千円)			740	1,020										
		総費用(千円)			937	1,386										
		人件費等の修正(千円)														
		総費用(千円)※人件費等修正後			937	1,386										

シートNo.	0464201	事務事業名	芸術文化の振興啓発事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000832	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者	生涯学習課長

2/2ページ

項 目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
		評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	伝統文化ふるさと講座では多くの市民講師が携っており、講師の伝統の文化を次世代に伝えたいとする目的を達成する事業として市民ニーズにあった事業となっている。	○	例年多くの方に参加してもらっていることからニーズを反映している。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	△	市が目指す芸術文化を普及・振興のために、学校、文化協会、行政が連携して事業を行っていくことが効果的であるため、市として実施する必要がある。	△	市の芸術文化を普及・振興させていくにあたっては、学校、文化協会、行政が連携して事業を行っていくことが効果的であるため、市として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	伝統文化ふるさと講座は、第2次小郡市教育大綱の基本目標の一つ【郷土】～喜びあふれる豊かな郷土を作ろうとする人を育みます～」のための重要な事業であり、優先度の高い事業である。	○	市の芸術文化の保存・伝承、また普及・振興を図っていくために、講座を実施することが効果的であることから、優先度の高い事業である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-	
事業の効率性	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	中学生の指導行う講師に、市の基準に基づき謝金2,500円／日を支払っている。	○	市の基準に基づき講師謝金として2,500円／日 を支払っている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	妥当である。	○	妥当である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要なものに限定されている。	○	真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みのとおり2校での実施を行った。	○	見込みのとおり2校での実施を行った。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	実施校の生徒数の減少により、成果指標である講座参加者数が減少した。	△	成果実績は、成果目標値にはやや届かない結果となった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-	
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-		-	
関連事業	課名				
	連番				
	事業名				
点検・改善結果	点検結果		令和4年度の伝統文化ふるさと講座は、例年通り2つの中学校で実施。1年の在校生全員を対象に実施したが、生徒数の減少により目標数に達することができなかった。全国大会参加補助金は、1団体4人に対して交付を行った。コロナ自粛緩和により、これまで休止されていた大会が再開されて、補助金申請に動きが出てきた。		令和3年度の伝統文化ふるさと講座の参加校は2校。令和2年度はコロナの影響で1校が中止となったため、参加校は増えたが例年2校であったことから、例年と比較して利用数に変動はない状況であった。また、大会出場補助金もコロナの影響で令和2年度より申請がない状況。
	改善の方向性		子どもたちが伝統文化を学び触れられる「伝統文化ふるさと講座」だが、現在の実施方法では参加人数が限られるため、より多くの子どもの参加ができるような方法はないか、文化協会とともに検討する。		第2次小郡教育大綱の目的達成に向けて、伝統文化ふるさと講座の参加校の拡大に向けた取り組みを進める。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464202	事務事業名	市民文化祭実施事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000828	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的		広く市民の芸術文化創作活動の総合的発表の場として、市民文化祭を開催し、市民の芸術文化に対する認識、理解を深めるとともに、地域文化の振興・向上を目的とする。また、文化に触れる機会を提供することで、来場者の文化への興味、関心につなげる。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度	
事業概要		小郡市民文化祭実行委員会に対して、事業費の一部補助を行うとともに、運営支援を行っている。									当初予算	1,119	1,087	
											補正予算		261	
											前年度から繰越			
											翌年度へ繰越			
											予備費等			
											計	1,119	1,348	
根拠法令、 関係計画、 通知等		小郡市教育大綱、小郡市教育振興基本計画									執行額	1,119	1,266	
											執行率(%)	100%	94%	
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標	市広報及び生涯学習ニュースを利用した市民文化祭に関する記事掲載回数	活動実績	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
					当初見込	回	2	2						
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)		活動指標		活動実績	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込					
					当初見込									
単位当たり コスト		算出根拠 X:総費用(単位:千円)／ Y:市広報及び生涯学習ニュースへの記事 掲載回数(単位:回数)		単位 当たり コスト	単位	R03年度	R04年度							
					千円	2,038.5	1,127.7							
				計算式	X/Y	4,077/2	3,846/3							
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標	市民文化祭参加者数をR11年度まで継続的に1,000人	成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R7 年度	目標最終年度 R11 年度					
					人	304	784	-	-					
		成果指標	市民文化祭参加者数	目標値	人	300	1,000	1,000	1,000					
				達成度	%	101	78.4	-	-					
		補足説明	【R1】文化祭(出演者658人、展示数372点) 【R2】web文化祭(動画部門139人、写真部門92点) 【R3】文化祭(動画部門185人、写真部門119点) 【R4】文化祭(出演者621人、展示数163点)											
		根拠として用いた統計・データ名(出典)												
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果目標		成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	投入工数 (単位:人)	正職員	0.3	0.1	
					目標値						再任用	0		
		成果指標		達成度	%						会計年度月額	0.1	0.5	
											会計年度日額	0.3	0.2	
		補足説明									計	0.70	0.80	
											人件費合計(千円)	3,160	2,580	
		根拠として用いた統計・データ名(出典)									総費用(千円)	4,279	3,846	
											人件費等の修正(千円)	▲ 202	▲ 463	
											総費用(千円)※人件費等修正後	4,077	3,383	

シートNo.	0464202	事務事業名	市民文化祭実施事業			部・課・係	教育部	生涯学習課		文化振興係	
事業No.	J000828	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者	生涯学習課長		2／2ページ

項 目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善			<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善		
		評価	評価に関する説明		評価	評価に関する説明	
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	市民文化祭は芸術文化活動を行う市民の発表の場であり、鑑賞したい来場者が集まる催物であるため、出演・出展者と観覧者ともにニーズに応じた事業である。		○	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、withコロナの取り組みとして、web文化祭を実施し、多くの方に参加してもらっていることからニーズを反映している。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	△	市が目指す芸術文化の普及・振興のために、実行委員会と市が連携して事業を行う必要があり、催物を効果的に実施するために市が関わる必要がある。		△	市の芸術文化を普及・振興させていくにあたっては、実行委員会と行政が連携して事業を行っていくことが効果的であるため、市として実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	小郡市教育大綱の重点項目に「芸術文化の普及・振興の推進」があり、本事業はそれを推進するために必要不可欠な事業である。		○	市の芸術文化の保存・伝承、また普及・振興を図っていくために、当該実行委員会を支援することが効果的であることから、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		-		
		無			無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無			無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	市民文化祭開催にかかる費用負担として、出演者・出展者にも出演料・出展料の負担を求めており、負担関係は妥当である。		△	令和3年度に実施したweb文化祭は、通常開催と比較して経費がかからなかったため、参加費無料で実施した。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	妥当である。		○	概ね妥当である。web文化祭は、通常の文化祭と比較して低コストで実施することができた。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要なものに限定されている。		○	真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-			-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-			-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-			-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和4年度は2年ぶりの実践開催となり、それに見合ったものになった。		○	見込みと同等の実績となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			○	web文化祭は、通常の文化祭と比較して低コストで実施することができた。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	令和4年度の参加者数はコロナ以前に設定した目標に達しなかったが、参加者アンケートでは満足度が高かった。		○	目標と同等の実績となっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			-		
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-			-		
	課名						
	連番						
点検・改善結果	点検結果		令和4年度は、2年ぶりに市民文化祭を実践開催することができた。令和元年と比較して展示作品の出展数が大きく減少した。これは、この間の活動自粛で作品の制作が進まなかったことが原因していると考えられる。しかし、久しぶりに舞台や展示ができたことに喜ぶ参加者が多かった。			令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、通常開催はできなかったが、web文化祭を実施することができた。Web上での開催は広く誰でも見ることができるといったメリットはあるものの、観客の反応が分かりにくいというデメリットもあり、出演者からは従来の対面式の市民文化祭を求める声があがっている。	
	改善の方向性		出演・出展者にとって市民文化祭は、日々の練習や活動の成果を披露する場として活動の目標となっている。また、それを鑑賞する家族や知人、その他観覧者も楽しみにしている催物であり、市民に定着した催物となっている。今後も継続して開催できるよう取り組む。			いまだコロナウイルス感染症の終結の見通しは立たないものの、令和4年度はガイドラインに従いしっかりとコロナ対策を行いながら、なるべく実際の市民文化祭が開催できるよう、実行委員会とともに取り組みを進めていく。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464203	事務事業名	自主文化事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000830	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的		文化会館において、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供し、芸術文化の振興を図る。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度		
											当初予算	4,190	4,044		
											補正予算				
											前年度から繰越				
											翌年度へ繰越				
									予備費等						
									計	4,190	4,044				
									執行額	2,815	3,368				
									執行率(%)	67%	83%				
									歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)			
									国庫支出金	1,985	2,022				
									県支出金	220					
									使用料・手数料						
									分担金・負担金等						
									財産収入						
									繰入金						
									諸収入						
									繰越金						
									地方債						
									一般財源	1,985	2,022				
									計	4,190	4,044				
									歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途			
									負担金、補助及び交付金	4,190	4,044				
												自主文化事業補助金			
									計	4,190	4,044				
									投入工数 (単位:人)	正職員	0.1	0.1			
										再任用	0				
										会計年度月額	0.8	0.5			
										会計年度日額	0				
										計	0.90	0.60			
									人件費合計(千円)		2,980	2,140			
									総費用(千円)		5,795	5,508			
									人件費等の修正(千円)						
									総費用(千円)※人件費等修正後		5,795	5,508			

シートNo.	0464203	事務事業名	自主文化事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000830	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	催物ごとに観覧者アンケートを実施。そこで把握したニーズを基に次年度の事業計画作成に活かしている。	○	自主文化事業の実施にあたっては、観覧者のアンケートを基に計画を立てて実施している。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		△	市が目指す芸術文化の普及・振興のために、文化事業協会と市が連携して事業を行う必要があり、催物を効果的に実施するためにも市が関わる必要がある。	△	市の芸術文化を普及・振興させていくにあたっては、文化事業協会と行政が連携して事業を行っていくことが効果的であるため、市として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	小郡市教育大綱の重点項目に「芸術文化の普及・振興の推進」があり、本事業はそれを推進するために必要不可欠な事業である。	○	市の芸術文化の保存・伝承、また普及・振興を図っていくために、文化事業協会を支援することが効果的であることから、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		－		－	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	催物に応じた料金設定をし、観覧者から料金徴収して運営をしているため、妥当である。	○	催事に応じた料金設定をし、観覧者から料金徴収して運営をしているため、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当である。	△	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6事業のうち、4事業しか実施できなかったため、広報掲載回数が減少した。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要なものに限定されている。	○	真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		－		－	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		－		－	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		－		－	
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	活動実績を広報掲載回数としているが、最初の2事業はコロナの影響で延期となり、変更後の周知記事が広報入稿に間に合わず掲載ができなかったため回数が少なくなっている。	△	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6事業のうち、4事業しか実施できなかった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		－		－	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、目標値の87.6%まで観覧者数を確保することができた。	△	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6事業のうち、4事業しか実施できなかった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		－		－	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		－		－	
	課名					
	連番					
	事業名					
	点検・改善結果	点検結果	令和4年度はコロナ対策を行った上で事業開催ができるようになり、計画していた事業は全て開催することができた。また、観覧者数も少しずつ戻ってきている。		令和3年度は令和2年度に比べ催事の開催回数は増えたものの、延期となった催しもあり、長引くコロナウイルス感染症の影響で芸術文化を提供する機会が少ないため、イベントを求める市民の声に十分に答えられない状況であった。	
		改善の方向性	令和5年度の自主事業では、市民のニーズに応じた催物に加えこれまで行ったことのない新しい催物も組み入れることで、市民に新鮮な芸術体験を提供できるよう事業計画を行う。		令和4年度は、劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを守った上で、できる限り催事を実施する方向で取り組む。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464204	事務事業名	小郡音楽祭支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000829	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者 生涯学習課長

事業の目的		地域の人々に音楽のすばらしさ、楽しさを体験できる機会を創出し、地域における音楽による文化振興を図る。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度					
事業概要		小郡音楽祭実行委員会が行う小郡音楽祭に対して、事業費の一部補助と運営事務の支援を行うもの。									当初予算	393	380					
											補正予算							
											前年度から繰越							
											翌年度へ繰越							
											予備費等							
											計	393	380					
根拠法令、 関係計画、 通知等		小郡市教育大綱、小郡市教育振興基本計画									執行額	228	262					
									執行率(%)	58%	69%							
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標	市広報及び生涯学習ニュースを利用したハーモニーinおごりに関する記事掲載回数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予算内訳 (単位:千円)	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	国庫支出金		196	190						
									県支出金									
									使用料・手数料									
									分担金・負担金等									
単位当たり コスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度					財産収入							
	X:総費用(単位:円)／ Y:市広報及び生涯学習ニュースへの記事 掲載回数(単位:回数)		活動実績									繰入金						
			当初見込									諸収入						
												繰越金						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標	ハーモニーinおごり参加者 数をR11年度まで継続的に 1,300人		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R7 年度	目標最終年度 R11 年度	地方債									
	成果指標	ハーモニーinおごり参加者 数		単位	人	1,300	1,300	1,300	1,300		一般財源	197	190					
	達成度	%		人	－	47.8	－	－	計		393	380						
	補足説明								歳出予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な使途					
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	根拠として用いた 統計・データ名(出典)			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	負担金、補助及び交付金		393	380	小郡音楽祭補助金					
	成果目標		成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度										
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果指標		目標値	達成度	%													
	補足説明								計		393	380						
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	根拠として用いた 統計・データ名(出典)			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	正職員		0.1	0.1						
	成果目標		成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	再任用		0							
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果指標		目標値	達成度	%				会計年度月額		0.6	0.5						
	補足説明								会計年度日額		0							
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	根拠として用いた 統計・データ名(出典)			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	計		0.70	0.60						
	成果目標		成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	人件費合計(千円)		2,420	2,140						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果指標		目標値	達成度	%				総費用(千円)		2,648	2,402						
	補足説明								人件費等の修正(千円)									
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	根拠として用いた 統計・データ名(出典)			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	総費用(千円)※人件費等修正後		2,648	2,402						
	成果目標		成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度										

シートNo.	0464204	事務事業名	小郡音楽祭支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000829	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者 生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	小郡音楽祭は、音楽を楽しみ、活動の成果を発表する機会を求める人たちが参加する催物であり、ニーズに応える催物となっている。	○	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ハーモニーinおごりは中止となったが、例年多くの方に参加してもらっていることからニーズを反映している。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		△	市が目指す芸術文化の普及・振興のために、実行委員会と市が連携して事業を行う必要があり、催物を効果的に実施するためには市が関わる必要がある。	△	市の芸術文化を普及・振興させていくにあたっては、実行委員会と行政が連携して事業を行っていくことが効果的であるため、市として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	小郡市教育大綱の重点項目に「芸術文化の普及・振興の推進」があり、本事業はそれを推進するために必要不可欠な事業である。	○	市の芸術文化の保存・伝承、また普及・振興を図っていくために、当該実行委員会を支援することが効果的であることから、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	ハーモニーinおごりの参加費として5,000円／団体 を徴収し、運営を行っているため、妥当である。	○	ハーモニーinおごりの参加費として5,000円／団体 を徴収し、運営を行っているため、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当である。	△	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ハーモニーinおごりは延期、中止となったことで、広報掲載回数が増加した。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要なものに限定されている。	○	真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-		-	
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	令和4年度は2年ぶりに音楽祭を開催することができ、見込み通りとなった。	△	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ハーモニーinおごりは延期、中止となった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	令和4年度の参加者数はコロナ以前に設定した目標には及ばなかったが、参加者のアンケートでは満足度が高かった。	△	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ハーモニーinおごりは延期、中止となった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		-		-	
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果			点検結果		令和4年度は、コロナ対策を行った上で音楽祭を開催することができた。合唱は集団で声を出して行うこともあってか、参加者数はコロナ以前には及ばなかったが、参加者からは2年ぶりに仲間と一緒にステージに立つことができたと言ふ声が多かった。	
改善の方向性			参加者にとって音楽祭に出演することは、仲間と一緒に日々練習し、その成果を披露ために活動の目標となっている。今後も安全に留意しながら、音楽祭を継続開催できるよう取り組みを進めていく。		音楽祭は、令和2年度、3年度と2年続けて開催できずにいる。音楽を愛し楽しむ方々のモチベーションを保ち、市民の皆さんに音楽文化への理解を継続してもらうためにも、令和4年度はガイドラインに沿ったコロナ対策を行った上で、音楽祭を開催する方向で取り組みを進める。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464205	事務事業名	文化協会支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000827	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者 生涯学習課長

事業の目的		文化協会は複数の芸術文化の活動団体で構成されており、市民の文化振興と普及・発達を会の目的としている。文化協会に市内の文化活動の推進力となってもらい活動を支援することで、文化事業の育成や地域文化の発展を図る。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度			
											当初予算	437	422	補正予算		
事業概要		文化協会に対して、事業費の一部補助を行うとともに、運営支援を行っている 【令和4年度文化協会の主な事業】 ・夏休みこども体験教室 ・第14回芸術祭 ・創立50周年記念事業 ・伝統文化ふるさと講座講師派遣 ・初心者体験教室							予算内訳 (単位:千円)	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)			
											前年度から繰越					
											翌年度へ繰越					
											予備費等					
根拠法令、 関係計画、 通知等		小郡市教育大綱、小郡市教育振興基本計画							歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										計	437		422			
										執行額	342		422			
										執行率(%)	78%		100%			
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標		市広報及び生涯学習ニュースを利用した文化協会活動に関する記事掲載回数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												国庫支出金	218		211	
												県支出金				
												使用料・手数料				
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)		活動指標		市広報及び生涯学習ニュースを利用した文化協会活動に関する記事掲載回数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												分担金・負担金等				
												財産収入				
												繰入金				
単位当たり コスト		算出根拠		X:総費用(単位:千円)／ Y:市広報及び生涯学習ニュースへの記事掲載回数(単位:回数)		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰越金				
												地方債				
												一般財源	219		211	
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												計	437		422	
												歳出予算	R03年度		R04年度	R04年度の主な使途
												負担金、補助及び交付金	437		422	
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
補足説明		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
根拠として用いた 統計・データ名(出典)		－		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)				
										繰入金						
										繰越金						
										諸収入						
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		文化協会会員数をR11年度まで継続的に700人		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)		
												繰入金				
												繰越金				
												諸収入				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果指標		文化協会会員数		単位										

シートNo.	0464205	事務事業名	文化協会支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J000827	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4042	作成責任者 生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	芸術文化に触れることは、心豊かで潤いのある市民生活に必要であることから、本事業は必要性の高いものである。		△	文化協会会員数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少傾向にあるものの、多くの会員が文化協会に所属しており、芸術文化へのニーズは失われていない。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	△	市が目指す芸術文化の普及・振興のために、文化協会と市が連携して事業を行う必要があり、催物を効果的に実施するために市が関わる必要がある。		△	市の芸術文化を普及・振興させていくにあたっては、市内において芸術文化活動を行う団体で組織する文化協会と行政が連携して事業を行っていくことが効果的であるため、市として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	小郡市教育大綱の重点項目に「芸術文化の普及・振興の推進」があり、文化協会にはその推進者として活躍してもらう必要があり、必要不可欠な事業である。		○	市の芸術文化の保存・伝承、また普及・振興を図っていくために、市内において芸術文化活動を行う団体で組織する文化協会を支援することが効果的であることから、優先度の高い事業である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	－			－	
事業の効率性	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無			無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無			無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	文化協会会員は、年会費を負担しており負担関係は妥当である。		○	市の芸術・文化の普及・振興という観点から文化協会の運営・活動は重要であり、運営・活動資金として、会員から会費徴収も行っているため、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	妥当である。		△	令和3年度はコロナの影響により、文化協会に所属する団体の活動も減少しており、広報等による活動に関する記事掲載回数も減少している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要なものに限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	－			－	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	－			－	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	－			○	令和元年度から補助金の交付額は減少しており、限られた予算の中で、芸術文化の普及・振興のための活動を行っている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和4年度は、コロナ対策を行った上で催物を実施できるようになり、それに合わせて周知の広報記事の掲載回数が増えた。		○	見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	－			－	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	会員の高齢化により退会者が続き、会員数は減少傾向にある。		△	今後もコロナの影響や会員の高齢化等の要因により、会員数増加は難しい状況ではあるが、活動の周知等をとおして十二分に連携を図っていく。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－			－	
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	－			－	
	課名					
関連事業	連番					
	事業名					
点検・改善結果			令和4年度はコロナ対策を行った上で活動を再開することができた。通常の活動に加え、2年間延期されてきた事業も開催され、文化協会にとって多忙な1年となった。		令和3年度の文化協会の会員数は前年度より減少している。令和2年度3年度の市民文化祭はWEBで行ったため参加費が無料になった。文化協会会員はもともと文化祭参加費無料という特典があったが、このことで協会のメリットがなくなり、加入を継続しなかった人が増えたことが原因。	
			文化協会は今後も、市とともに芸術文化の普及・振興を推進するパートナーとして活動支援を継続する。		令和4年度も新型コロナウイルス感染症の終結が見通せない状況で、活動を控える人もいる中、芸術文化の振興、活性化のための工夫が必要。魅力ある文化協会となるにはどのようにすればよいのか、文化協会のあり方を検討する。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464206	事務事業名	文化会館その他設備更新事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J004610	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P404A	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的	老朽化した文化会館設備の更新を行い、利用者に安全安心な施設を提供することを目的とする。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	R03年度		R04年度			
事業概要	1987年に建築された文化会館は30年以上が経過し、躯体や設備などの老朽化が進行している。各種法令や保守点検により、更新が必要になった設備を緊急性が高いものから順次更新していく。 【令和4年度事業】 「文化会館外灯他改修工事」 小ホール照明器具20個、外灯照明器具24個の電灯設備LED照明更新工事							予算 状況	当初予算		4,900			
									補正予算	2,463				
									前年度から繰越					
									翌年度へ繰越					
									予備費等					
根拠法令、 関係計画、 通知等	小郡市公共施設等総合管理計画、建築基準法、消防法など								計	2,463	4,900			
									執行額	2,205	4,391			
									執行率(%)	90%	90%			
									歳入予算	R03年度	R04年度			
									R04年度の主な収入内訳(名称等)					
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)	活動指標 【令和3年度】 交換が必要な非常用蓄電池の台数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予算内訳 (単位:千円)	国庫支出金					
									県支出金					
									使用料・手数料					
									分担金・負担金等					
									財産収入					
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標 【令和4年度】 更新が必要な照明器具の数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		繰入金					
									諸収入					
									繰越金					
									地方債	1,600	4,400			
									一般財源	863	500			
単位当たり コスト	算出根拠 X:総費用 【令和3年度】 Y:交換が必要な非常用蓄電池数 【令和4年度】 Y:更新が必要な照明器具の数		単位	R03年度	R04年度				計	2,463	4,900			
									歳出予算	R03年度	R04年度			
									工事請負費	2,463	4,900			
									R04年度の主な使途					
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標		単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	投入工数 (単位:人)	計	2,463	4,900			
									正職員	0.1	0.2			
									再任用	0	0.1			
									会計年度月額	0				
									会計年度日額	0				
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標		単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		計	0.10	0.30			
									人件費合計(千円)	740	1,920			
									総費用(千円)	2,945	6,311			
									人件費等の修正(千円)					
									総費用(千円)※人件費等修正後	2,945	6,311			
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標		単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		成果実績					
									目標値					
									達成度	%				
									補足説明					
									根拠として用いた 統計・データ名(出典)					
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標		単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		成果実績					
									目標値					
									達成度	%				
									補足説明					
									根拠として用いた 統計・データ名(出典)					

シートNo.	0464206	事務事業名	文化会館その他設備更新事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	文化振興係
事業No.	J004610	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P404A	作成責任者 生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	文化会館・図書館の利用者が、夜間も安全に施設を利用するために、外灯の改修は必要不可欠であり、既存の照明を高効率の照明であるLED照明に更新することで、施設のランニングコストを抑えることは、市民や社会のニーズを反映したものである。	○	消防法で設置義務がある設備のため、その維持管理必要不可欠である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		-		-	
			○	外灯が老朽化により点灯しなくなっていたものもあり、早急に対応する必要がある優先度が高い事業であった。	○	老朽化による更新で優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	指名競争入札により、業者を決定した。	○	指名競争入札により業者を決定。
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	指名競争入札により金額を決定しているため、妥当である。	○	指名競争入札により金額を決定しているため妥当である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	改修が必要なすべての照明器具の更新ができたので、見込み通りの成果となった。	○	活動実績は蓄電池の台数で、今回の改修により全ての蓄電池を更新することができた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-		-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	文化会館・図書館の利用者のために十分活用している。	○	非常用の設備であり、非常時の対応はできている。
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名				-	
	連番					
事業名						
点検・改善結果			点検結果	今回は老朽化により故障した外灯の補修に合わせて、小ホールの照明も併せてLED照明に更新した。夜間の安全が確保できただけでなく、LEDの効果である電気使用量が削減され施設のランニングコストを抑えるとともに、市で取り組んでいる地球温暖化防止計画（エコ・オフィスおごり）の推進にもつながった。		
			改善の方向性	文化会館は建設から35年が経過し、これまで老朽化により様々な機材の更新を行ってきた。今後も定期点検を継続する中で、必要に応じて機材の修理や更新を行い、安全な運営を行っていく。		
				文化会館は建設から35年が経過し、これまで老朽化により様々な機材の更新を行ってきた。今後も定期点検を継続する中で、必要に応じて機材の修理や更新を行い、安全な運営を行っていく。		

今回は非常時の電源となる蓄電池のバッテリーが老朽化したためバッテリーを行い、非常時の備えをすることができた。

文化会館は建設から35年が経過し、これまで老朽化により様々な機材の更新を行ってきた。今後も定期点検を継続する中で、必要に応じて機材の修理や更新を行い、安全な運営を行っていく。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464301	事務事業名	ブックスタート事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000909	開始年度	平成14年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的	近年、核家族の増加により、子育て中の保護者の孤立化、孤独化が案じられる状況にある。このような状況の中、ブックスタートは保護者に絵本を通して赤ちゃんとき楽しい時間を共有し、親子のきずなを深め、コミュニケーションを楽しむことをサポートする子育て支援の一環である。								予算額・執行額 (単位:千円)	予算状況	R03年度	R04年度										
										当初予算	854	854										
事業概要	10か月児健診時に、絵本を介した親子のコミュニケーションを勧め、記念品(選定絵本2冊、絵本リスト)等を手渡す。その際に読み聞かせのアドバイスを行うとともに、絵本を使った語りかけの大切さを伝える。									補正予算												
										前年度から繰越												
根拠法令、関係計画、通知等	小郡市子どもの読書活動推進計画									翌年度へ繰越												
										予備費等												
活動目標及び活動実績1 (アウトプット)	活動指標	10か月児健診対象者のうちブックスタート実施者数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		計	854	854										
			活動実績	人	408	367				執行額	821	747										
活動目標及び活動実績2 (アウトプット)	活動指標		当初見込	人	400	400				執行率(%)	96%	87%										
			活動実績							R04年度の主な収入内訳(名称等)												
単位当たりコスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度			予算内訳 (単位:千円)	歳入予算	R03年度	R04年度										
	X:総費用(単位:千円) Y:10か月児健診対象者のうちブックスタート実施者数(単位:人)		単位当たりコスト	千円	3.3					国庫支出金												
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標	設定しない	計算式	X/Y	1,381/408					県支出金												
			成果実績							使用料・手数料												
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果指標		目標値							分担金・負担金等												
			達成度	%						財産収入												
補足説明	ブックスタート実施者の動向を図書館利用等に特定して把握が出来ない。								投入工数 (単位:人)	繰入金												
	根拠として用いた統計・データ名(出典)									諸収入												
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標		中間目標							繰越金												
			目標最終年度							地方債												
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果指標		達成度	%						一般財源	854	854										
			達成度	%						計	854	854										
補足説明	ブックスタート実施者の動向を図書館利用等に特定して把握が出来ない。								投入工数 (単位:人)	歳出予算	R03年度	R04年度										
	根拠として用いた統計・データ名(出典)									報酬	81	81										
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標		中間目標							賃金												
			目標最終年度							旅費	3	3										
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果指標		達成度	%						報償費	770	770										
			達成度	%																		
補足説明	ブックスタート実施者の動向を図書館利用等に特定して把握が出来ない。								投入工数 (単位:人)													
	根拠として用いた統計・データ名(出典)																					
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標		中間目標							計	854	854										
			目標最終年度							正職員	0											
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果指標		達成度	%						再任用	0											
			達成度	%						会計年度月額	0.2	0.2										
補足説明	ブックスタート実施者の動向を図書館利用等に特定して把握が出来ない。								投入工数 (単位:人)	会計年度日額	0											
	根拠として用いた統計・データ名(出典)									計	0.20	0.20										
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標		中間目標							人件費合計(千円)	560	560										
			目標最終年度							総費用(千円)	1,381	1,307										
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果指標		達成度	%						人件費等の修正(千円)												
			達成度	%						総費用(千円)※人件費等修正後	1,381	1,307										
補足説明	ブックスタート実施者の動向を図書館利用等に特定して把握が出来ない。																					
	根拠として用いた統計・データ名(出典)																					

シートNo.	0464301	事務事業名	ブックスタート事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000909	開始年度	平成14年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	子育ての孤立化などの様々な社会問題や育児ストレスの軽減の一つになっている。	○	子育ての孤立化などの様々な社会問題や育児ストレスの軽減の一つになっている。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		△	図書館職員がブックスタートを実施することで、受講者と図書館との繋がりを生むことができている。	△	ブックスタート時に話をしたことで、図書館に来館された際に、話しかけやすくなっている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	子育て中の親子に直接話をすることができ、個別に働きかけができる場としては貴重な時間である。	○	子育て中の親子に直接話をすることができ、個別に働きかけができる場としては貴重な時間である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		△	以前配布していたブックスタートバックを要望する声が多くある。	△	ブックスタートの時に渡していたバックを、やめたことで、利用者からは、残念であるという声が多く聞かれる。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		×	10か月健診の中で実施することで、ブックスタートを受ける割合が上がっている。	×	10か月健診の中で実施することで、ブックスタートを受ける割合が上がっている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果		新型コロナウイルスの影響が少なくなったため、健診及びブックスタートを受ける人の割合がコロナ禍前の水準に戻ってきている。		新型コロナウイルスが流行する前より、健診を控える人が多くなってきている。	
	改善の方向性		健診会場でブックスタートを受けられなかった人には、図書館で個別に対応している。		新型コロナ感染症の影響により健診を控えた人には、図書館で個別に対応するなどの対応をしていく。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464302	事務事業名	学校図書館連携事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000910	開始年度	平成22年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的	学校図書館と連携、協力し、学校教育への支援を行う。								予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	当初予算	2,616	2,527		
事業概要	学校図書館支援センターを窓口、市立図書館を図書資料の物流拠点と位置づけ、資料の相互貸借、資料相談等を行う。また、司書教諭、学校司書、学校教育課と市立図書館が合同での連絡会や研修会を行い、情報交換、スキルアップを行う。										補正予算				
											前年度から繰越				
											翌年度へ繰越				
											予備費等				
											計	2,616	2,527		
											執行額	2,593	2,531		
根拠法令、 関係計画、 通知等	子どもの読書活動の推進に関する法律 学校図書館ガイドライン 小郡市子ども読書活動推進計画								執行率(%)	99%	100%				
									歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)			
									国庫支出金						
									県支出金						
									使用料・手数料						
									分担金・負担金等						
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)	活動指標	学校間相互貸借冊数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	財産収入						
			活動実績	冊	16,968	13,069			繰入金						
			当初見込	冊	14,000	14,000			諸収入						
	活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	繰越金					
				活動実績					地方債						
				当初見込					一般財源	2,616	2,527				
単位当たり コスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度	計					2,616	2,527		
	X:総費用(単位:円)/ Y:学校間巡回配本車相互貸借冊数(単位:冊)		単位当たり コスト	円	212.9	305.4	歳出予算					R03年度	R04年度	R04年度の主な使途	
			計算式	X/Y	3,613,000 /16,968	3,991,000/ 13,069	報酬					1,484	1,471	支援センター報酬	
							賞金								
							旅費					23	23	費用弁償	
							需用費								
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標	令和10年度まで子どもの有効登録者数を継続的に5,500人とする。		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R05 年度	目標最終年度 R10 年度	役務費	48	48	学校連携回線			
			成果実績	人	4,301	4,241			委託料	1,061	985	返却ポスト回収(メール便)			
			目標値	人	5,500	5,500									
	成果指標	子どもの有効登録者数	目標値	人	5,500	5,500									
			達成度	%	78.2%	77.1%									
			補足説明	子どもの有効登録者→0歳から15歳まで図書館利用登録者の内、1年間に1回以上利用した者								計	2,616	2,527	
根拠として用いた統計・データ名(出典)										投入工数 (単位:人)	正職員	0.1	0.1		
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	再任用		0				
			成果実績						会計年度月額		0.1	0.1			
			目標値						会計年度日額		0.8	1			
	成果指標		達成度	%							計	1.00	1.20		
			補足説明									人件費合計(千円)	2,780		3,220
			根拠として用いた統計・データ名(出典)										総費用(千円)		5,373
										人件費等の修正(千円)	▲ 1,760	▲ 1,760			
										総費用(千円)※人件費等修正後	3,613	3,991			

シートNo.	0464302	事務事業名	学校図書館連携事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000910	開始年度	平成22年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長
2/2ページ									

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	子どもの学力の向上に対しての期待は大きい	○	子どもの学力の向上に対しての期待は大きい
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	学校教育にかかわる事業であり、教育部で連携して取り組む必要がある。	○	学校教育にかかわる事業であり、教育部で連携して取り組む必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	子どもの学習支援を図り、学力向上のために必要な事業である。	○	子どもの学習支援を図り、学力向上のために必要な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	コロナ禍においても学校間連携は活発に行われたが、見込み数には達しなかった。	○	年間を通しての貸借が行われている。メール便の活用は大きく、コロナ禍においては、特にその必要性が高まった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	登録者数については微減となった。	○	コロナ禍ではあったが、学校の授業での需要は高まり、相互貸借の冊数は増加した。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果		令和4年度は、図書館システムの更新に伴う長期休館や、小学校の2学期制移行に伴い、学校間相互貸借の冊数が減少した。また、年3回の合同会議と、百科事典の使い方に関する研修会を実施することができた。		年間を通して資料の貸借が行われている。また、コロナ禍においてもメール便等を活用し、情報の提供を行うことはできたが、合同会議、研修会が予定数開催できず、情報交換の場が少なかった。	
	改善の方向性		合同研修会や視察研修の内容を検討し、情報交換とスキルアップを図っていく。		合同会議の方法等を検討し、情報交換を図る必要がある。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464303	事務事業名	子どもの読書の街づくり事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000911	開始年度	平成21年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

1/2ページ

事業の目的		子どもたちが読書を通して、豊かな人生を生きる力を育むため、地域、幼稚園・保育所（園）、学校、関係団体が一体となって読書環境を整備し、充実させる。							予算額・ 執行額 （単位：千円）		R03年度		R04年度		
事業概要		「小郡市子ども読書活動推進計画」に基づき、官民が連携して、子どもの読書環境を整え、読書活動を支援する。計画は、毎年度、策定委員会において成果と課題について協議し、5年ごとに見直し、実効性のある計画を立てることに努める。 また、事業の対象を、子どものみとせず、周りの大人に対しての働きかけにも力を入れ理解を広げ、読書を通して子どもの成長を支援する街づくりをすすめる。									当初予算		725	700	
											補正予算				
											前年度から繰越				
											翌年度へ繰越				
									予備費等						
		計			725	700									
		執行額			424	506									
		執行率（％）			58%	72%									
根拠法令、 関係計画、 通知等		子どもの読書活動の推進に関する法律 小郡市子ども読書活動推進計画							歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳（名称等）		
									国庫支出金						
									県支出金		50				
									使用料・手数料						
									分担金・負担金等						
活動目標及び 活動実績1 （アウトプット）		活動指標		講座講演会等の開催回数				財産収入							
								繰入金							
								諸収入							
								繰越金							
								地方債							
		一般財源		675	700										
		計		725	700										
活動目標及び 活動実績2 （アウトプット）		活動指標				歳出予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な使途					
						報償費		563	544		講師謝金				
						旅費		56	56			講師費用弁償			
						需用費		82	76				講座消耗品費		
						委託料		24	24					託児委託料	
		計		725	700										
単位当たり コスト		算出根拠 X：総費用（単位：千円）／ Y：講座講演会等の開催回数（単位：回） 計算式 X／Y 6,564／17 6,646／22							正職員		0.3	0.3			
									再任用		0				
									会計年度月額		1.4	1.4			
									会計年度日額		0				
									計		1.70	1.70			
成果目標及び 成果実績1 （アウトカム）		成果目標		令和10年度まで子どもの有効登録者数を継続的に5,500人とする。			中間目標 R05 年度		目標最終年度 R10 年度						
		成果実績		人	4,301	4,241									
		目標値		人	5,500	5,500	5,500	5,500							
		達成度		％	78.2％	77.1％									
		補足説明		子どもの有効登録者→0歳から15歳まで図書館利用登録者の内、1年間に1回以上利用した者											
成果目標及び 成果実績2 （アウトカム）		根拠として用いた統計・データ名（出典）									総費用（千円）		6,564	6,646	
		成果目標													
		成果指標													
		補足説明									総費用（千円）※人件費等修正後		6,564	6,646	
		根拠として用いた統計・データ名（出典）													

シートNo.	0464303	事務事業名	子どもの読書の街づくり事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000911	開始年度	平成21年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長
2/2ページ									

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	子どもの成長に読書が必要であることは理解していても、読書に親しませる方法を見いだせないことが多く、事業に対するニーズは高い。また、学校でのタブレットの利用など、子どもの読書への影響も考えられるため、情報リテラシーの観点からも読書活動の支援が必要である。		○	子どもの成長に読書が必要であることは理解していても、読書に親しませる方法を見いだせないことが多く、事業に対するニーズは高い。また、学校でのタブレットの利用など、子どもの読書への影響も考えられるため、情報リテラシーの観点からも読書活動の支援が必要である。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	子どもの読書活動に対する理解を広げるためにも、地域、民間含めて、行政や保育、教育関係者等の連携のもとに行うことが必要な事業である。		○	子どもの読書活動に対する理解を広げるためにも、地域、民間含めて、行政や保育、教育関係者等の連携のもとに行うことが必要な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	読書で、子どもが生きる力を育むことが、健全な市民の育成につながり、街づくりの基礎となる。		○	読書で、子どもが生きる力を育むことが、健全な市民の育成につながり、街づくりの基礎となる。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。	-				
事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-				
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	新型コロナの影響が少なくなったため、前年度より多くのイベントを実施することができた。		△	コロナ禍で、集会行事の開催は最小限となり、読書を楽しむために館内でのテーマ展示などで情報提供を行うことができた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	新型コロナの影響もあり、来館者がコロナ禍前の水準に戻っていない。		△	コロナの感染拡大により、需要は高まっているが、臨時休館の影響で来館者数が減少している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果		令和4年度は、新型コロナウイルスの影響も少なくなり、直木賞作家の東山彰良氏を招いての講演会を実施することができた。多くの参加者があり、改めて読書に対する関心の高さを感じることができた。		新型コロナウイルスの影響で、ここ2年ほど大規模な集会行事の開催は見合わせていたが、感染の状況を見ながら、感染防止対策をとって読書講演会を開催した。反響は大きく、このような機会が望まれていたことが感じられた。	
	改善の方向性		新型コロナによる活動制限がなくなったため、講座・講演会の開催に積極的に取り組む。		魅力あるテーマで本の展示などを行って情報提供に努めるとともに、小規模の講座など新型コロナウイルス感染症の影響下でも開催しやすい形での集会行事を計画する。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464304	事務事業名	小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課		図書館
事業No.	J000912	開始年度	平成22年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長
1/2ページ									

事業の目的		子どもの読書活動推進をより効果的にすすめるため、活動団体である「子どもの読書」関連団体連絡協議会を支援し、子どもの読書推進に関わる読書ボランティアの活動の継続、質の向上を図る。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度						
											当初予算		20			10			
補正予算																			
前年度から繰越																			
翌年度へ繰越																			
予備費等																			
計		20		10															
執行額		9		10															
執行率(%)		45%		100%															
事業概要		「子どもの読書」関連団体連絡協議会が実施する事業を支援する。また、市の子育て支援事業と連携し、おはなし会等を開催する。								予算内訳 (単位:千円)		歳入予算		R03年度		R04年度		R04年度の主な収入内訳(名称等)	
									国庫支出金										
県支出金																			
使用料・手数料																			
分担金・負担金等																			
財産収入																			
繰入金																			
諸収入																			
繰越金																			
地方債																			
一般財源				20		10													
計		20		10															
根拠法令、 関係計画、 通知等		子どもの読書活動の推進に関する法律 小郡市子ども読書活動推進計画							投入工数 (単位:人)		歳出予算		R03年度		R04年度		R04年度の主な使途		
											負担金・補助及び交付金		20		10		補助金		
計		20		10															
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標		読書ボランティア講座・研修会等の開催		活動実績		当初見込		単位		R03年度		R04年度		R05年度 活動見込		R06年度 活動見込	
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)		活動指標		活動実績		当初見込		単位		R03年度		R04年度		R05年度 活動見込		R06年度 活動見込			
単位当たり コスト		算出根拠		単位当たり コスト		千円		144.5		290.0		X/Y		289/2		290/1			
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標		令和10年まで各ボランティア団体の活動回数を継続的に400回とする		成果実績		回		270		296		中間目標 R05 年度		目標最終年度 R10 年度			
		成果指標		各ボランティア団体の活動回数		目標値		回		400		400		400		400			
補足説明																			
根拠として用いた統計・データ名(出典)																			
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果目標		成果実績		単位		R03年度		R04年度		中間目標 年度		目標最終年度 年度					
		成果指標		目標値		達成度		%											
補足説明																			
根拠として用いた統計・データ名(出典)																			

シートNo.	0464304	事務事業名	小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会支援事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館	
事業No.	J000912	開始年度	平成22年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	子どもの読書活動の推進は子どもの生きる力を育むことにつながり、特に保護者、教育関係者に大いに期待されている。	○	子どもの読書活動の推進は子どもの生きる力を育むことにつながり、特に保護者、教育関係者に大いに期待されている。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	活動に関する情報やノウハウをもつ行政が中心となり、地域や市民との協力のもと推進することが必要である。	○	活動に関する情報やノウハウをもつ行政が中心となり、地域や市民との協力のもと推進することが必要である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	関連団体の活動支援をすることにより、地域の子ども読書活動の向上となるもので必要な事業である。	○	関連団体の活動支援をすることにより、地域の子ども読書活動の向上となるもので必要な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	コロナ禍で講座等の集会行事は開催できなかったが、ブックリストの作成を行うなど内容を変更して、活動を継続できた。	○	コロナ禍で講座等の集会行事は開催できなかったが、ブックリストの作成を行うなど内容を変更して、活動を継続できた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	コロナ禍においておはなし会などの活動が充分でなかった。	△	コロナ禍においておはなし会などの活動が充分でなかった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	作成されたブックリストを各団体で活用され、各団体のPRや今後の活動のきっかけとなった。	○	作成されたブックリストを各団体で活用され、各団体のPRや今後の活動のきっかけとなった。
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
	点検・改善結果			令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、講座・研修会を行うことが出来なかったため、保護者向けブックリストの作成を行った。また、各団体についても制限がある中での活動となった。		新型コロナウイルスの影響により、講座・研修会を行うことが出来なかったため、保護者向けブックリストの作成を行った。
	改善の方向性			新型コロナウイルスによる活動制限がなくなったため、対面での活動が増加していくと思われるので、研修等を行い活動をサポートしていく。		新型コロナウイルス感染の収束を見越して、各団体活動の機会を増やす目的で、対面でのおはなし会を小規模で、開催していく。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464305	事務事業名	障がい者サービス事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000908	開始年度	平成元年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的		障がいの有無にかかわらず、すべての市民が図書館を利用しやすい環境を整備する。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	当初予算	R03年度	R04年度	
事業概要	図書館を利用したくてもできない入院患者及び不規則な勤務状態にある医師・看護師等を対象とするとともに、市内どこにいても図書館を利用できるように移動図書館による巡回サービスを行う。録音図書によるサービスについては、県立図書館及び近隣の図書館の録音図書サービスを利用者が直接受けられるような手続きを基本とし、自宅配達サービスを行う。身体的な理由により図書館の利用が困難な人(高齢者を含む)に対しては、対象者の状況を図書館が認定した上で、図書等の宅配によるサービスを行う。	補正予算												
		前年度から繰越												
		翌年度へ繰越												
		予備費等												
		計	49	45										
執行額	45	45												
執行率(%)	92%	100%												
根拠法令、 関係計画、 通知等	小郡市立図書館サービス基本方針 障害者差別解消法 読書バリアフリー法	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)									
		国庫支出金												
		県支出金												
		使用料・手数料												
		分担金・負担金等												
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)	活動指標	移動図書館ステーション巡回回数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込						
			活動実績	回	455	547								
			当初見込	回	620	620								
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)	活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込						
			活動実績											
			当初見込											
単位当たり コスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度								
	X:総費用(単位:円)/ Y:巡回数(単位:回)		単位当たり コスト	円	714.3	594.1								
			計算式	X/Y	325,000 /455	325,000 /547								
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)	成果目標	令和10年度まで移動図書館利用者の延べ人数を継続的に7,500人とする。		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R05 年度	目標最終年度 R10 年度						
	成果指標	移動図書館利用者の延べ人数	成果実績	人	6,775	6,831								
			目標値	人	7,500	7,500	7,500	7,500						
			達成度	%	90.3%	91.1%								
	補足説明													
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								投入工数 (単位:人)	正職員	0			
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		再任用	0			
	成果指標		成果実績							会計年度月額	0.1	0.1		
			目標値							会計年度日額	0			
			達成度	%						計	0.10	0.10		
	補足説明								人件費合計(千円)	280	280			
根拠として用いた統計・データ名(出典)									総費用(千円)	325	325			
									人件費等の修正(千円)					
									総費用(千円)※人件費等修正後	325	325			

シートNo.	0464305	事務事業名	障がい者サービス事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000908	開始年度	平成元年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	図書館利用困難者(高齢者・障がい者等)への読書環境の整備は、行政として必要である。	○	図書館利用困難者(高齢者・障がい者等)への読書環境の整備は、行政として必要である。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	一部、録音等ボランティアの協力を得ながら、事業を進めている。	○	一部、録音等ボランティアの協力を得ながら、事業を進めている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	障がいの有無にかかわらず、すべての市民の知る権利を保障する義務がある。	○	障がいの有無にかかわらず、すべての市民の知る権利を保障する義務がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	コロナの影響や、システム更新により長期休館した影響により、活動実績が見込みに達しなかった。	○	移動図書館車のステーション見直しや数を増やしたことにより、利用者数が前年度より増加した。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	コロナの影響により移動図書館車の運休が発生したこともあり、目標には達しなかった。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)					
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果			移動図書館車の利用者数は回復傾向にあるが、施設内でコロナ感染者が発生した影響により、運休せざるを得ない事態も複数回見受けられた。		少しずつではあるが、宅配の利用者及び移動図書館車の利用が増えてきている。
	改善の方向性			宅配サービスの広報のあり方を検討するとともに、移動図書館車のステーション見直しを行ない、より良い読書環境の提供に向けた改善を図る。		高齢化などの理由で、図書館に足を運ぶことが難しい利用者が増えてきている。宅配によるサービスや、移動図書館の新たなステーションの場所の検討を行い、読書環境の充実を図る。

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464306	事務事業名	図書館サービス事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館	
事業No.	J000907	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長	1/2ページ

事業の目的		「地域の知の拠点」また「地域の課題解決を支援し、地域の発展を支える情報拠点」として市民へ図書館サービスを提供する。									
事業概要		①図書館資料の収集、整理及び保存②個人貸出、団体貸出③読書案内、レファレンス④講座・講演会の開催、資料展示⑤他の図書館等の協力⑥資料の図書館間の相互貸借⑦移動図書館の運営 また、安定し継続的な図書館サービスを提供していくため、文部科学省が定める「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を参考に図書館協議会に諮り、図書館の長期的な事業計画を立案する。									
根拠法令、関係計画、通知等		図書館法・小郡市教育大綱・小郡市教育振興基本計画 子どもの読書活動の推進に関わる法律・小郡市子ども読書活動推進計画 小郡市立図書館設置条例									
活動目標及び活動実績1（アウトプット）		活動指標	講座・講演会・おはなし会・図書資料の展示等の回数		単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		
			活動実績	回		61	86				
			当初見込	回		120	120				
活動目標及び活動実績2（アウトプット）		活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		
			活動実績								
			当初見込								
単位当たりコスト		算出根拠			単位	R03年度	R04年度				
		X:総費用(単位:千円)/ Y:講座・講演会・おはなし会・図書資料の展示等の回数(単位:回)		単位当たりコスト	千円	1,034.6	717.5				
				計算式	X/Y	63,113 /61	61,703 /86				
成果目標及び成果実績1（アウトカム）		成果目標	令和10年度まで有効登録者数を継続的に14,000人とする。		単位	R03年度	R04年度	中間目標 R05年度	目標最終年度 R10年度		
		成果指標	有効登録者数		成果実績	人	11,279	11,315			
					目標値	人	14,000	14,000	14,000	14,000	
					達成度	%	80.6%	80.8%			
		補足説明 有効登録者＝1年間に図書館を1回以上利用した人									
		根拠として用いた統計・データ名(出典)									
成果目標及び成果実績2（アウトカム）		成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
			成果実績								
		成果指標			目標値						
					達成度	%					
		補足説明									
		根拠として用いた統計・データ名(出典)									
予算額・執行額（単位:千円）		予算状況		当初予算	22,345	22,281					
				補正予算	1,542						
				前年度から繰越							
				翌年度へ繰越							
				予備費等							
				計	23,887	22,281					
				執行額	22,493	21,207					
				執行率(%)	94%	95%					
予算内訳（単位:千円）		歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)					
		国庫支出金									
		県支出金		50							
		使用料・手数料									
		分担金・負担金等		2							
		財産収入									
		繰入金									
		諸収入		0							
		繰越金									
		地方債									
		一般財源		23,835	22,281						
		計		23,887	22,281						
		歳出予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な使途					
		報酬		1,520	1,180	図書館協議会の報酬・図書配架等補助(育休代替)					
		報償費		163	165	研修会・レクチャー・講座 策定委員謝金					
		旅費		86	78	普通旅費・協議会・策定委員・配架 費用弁償					
		需用費		2,776	2,854						
		役務費		959	942	学校連携(インターネット)以外の通信運搬費					
		委託料		5,855	5,551	コンピュータ保守点検委託料・マーク入力等					
		使用料及び賃借料		1,219	1,411	早稲田システム以外の使用料及び賃借料					
		備品購入費		11,149	10,000	図書備品					
		負担金、補助及び交付金		100	100						
		計		23,827	22,281						
投入工数（単位:人）		正職員		1.1	1.1						
		再任用		0							
		会計年度月額		11.6	11.6						
		会計年度日額		0.2							
		計		12.90	12.70						
		人件費合計(千円)		41,060	40,620						
		総費用(千円)		63,553	61,827						
		人件費等の修正(千円)		▲ 440							
		総費用(千円)※人件費等修正後		63,113	61,827						

シートNo.	0464306	事務事業名	図書館サービス事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館	
事業No.	J000907	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
			評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	市民の知る権利、学ぶ権利を保障する「地域の知の拠点」また「地域の情報の拠点」として非常にニーズが高い。	○	市民の知る権利、学ぶ権利を保障する「地域の知の拠点」また「地域の情報の拠点」として非常にニーズが高い。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	一部ボランティア団体の協力を得ながら、事業を進めている。	○	一部ボランティア団体の協力を得ながら、事業を進めている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	地域の知の拠点、情報の拠点として、図書館は重要な役割を担っており、必要な事業である。	○	地域の知の拠点、情報の拠点として、図書館は重要な役割を担っており、必要な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	新型コロナの影響が減少したため、前年に比べて多くの講座・講演会・おはなし会等の事業を実施することができた。	△	コロナ禍における、度々の臨時休館や感染防止策措置のため、講座・講演会・おはなし会等の開催する回数が例年に比べると少なかった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	新型コロナの影響により、有効登録者数は前年度に比べて微増となっている。	△	コロナ禍における臨時休館措置のため、有効登録者数は減少している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
点検・改善結果	点検結果		令和4年度は、新型コロナによる休館こそなかったものの感染が拡大した時期もあったため、講座を十分に開催できない状況があった。また、来館者についてもコロナ禍前の水準には戻らない状況が続いた。		コロナ禍における臨時休館や感染防止策措置のため、講座・講演会、おはなし会等、十分に開催することができなかった。臨時休館中は電話・Webによる予約受付を行い、臨時窓口を設置し、貸出を行った。	
	改善の方向性		令和5年度は、新型コロナの5類移行により積極的に講座等のイベントを開催していく。また、令和6年度にサービス提供予定の電子図書館の運用について、久留米広域連携中枢都市圏のワーキンググループでの検討を進めていく。		非常時における情報提供の可能性、また、資料保存の観点から、電子図書や郷土・行政資料のデジタル化などのサービスの早急な導入が必要である。電子図書館については久留米広域連携中枢都市圏での導入に向けて、ワーキンググループでの検討を進める。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464307	事務事業名	野田宇太郎顕彰会支援事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000916	開始年度	平成4年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

事業の目的		野田宇太郎顕彰会を事務的に補助し、事業やイベント等で連携を図ることで、野田宇太郎氏の文学活動の功績を顕彰するとともに、近代文学の振興に寄与する。							予算額・ 執行額 (単位:千円)	予算 状況	R03年度		R04年度		
事業概要		顕彰会が主催する野田宇太郎生誕祭や生誕祭献詩募集に付随する事務の支援を行う。 また、資料館事業である企画展と顕彰会事業である文学散歩や文学講座などのイベントを連携させ、参加者に野田宇太郎が行ってきた文学に親しむ機会を提供する。									当初予算	480	1,130		
											補正予算				
											前年度から繰越				
											翌年度へ繰越				
											予備費等				
根拠法令、 関係計画、 通知等		小郡市教育大綱 小郡市教育振興基本計画 令和2年度小郡市教育施策実施計画									計	480	1,130		
									執行額	480	1,130				
活動目標及び 活動実績1 (アウトプット)		活動指標	野田宇太郎顕彰会事業の 情報発信・イベント回数	活動実績	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込	予算内訳 (単位:千円)	歳入予算		R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
					当初見込	回	32	27				国庫支出金			
活動目標及び 活動実績2 (アウトプット)		活動指標		活動実績	単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込		県支出金				
					当初見込							使用料・手数料			
単位当たり コスト		算出根拠		単位	R03年度	R04年度					分担金・負担金等				
		X:総費用(単位:千円)／ Y:野田宇太郎顕彰会事業の情報発信・ イベント回数(単位:回)		単位当たり コスト	千円	90.6					131.5	財産収入			
				計算式	X/Y	2,900/32					3,550/27	繰入金			
					達成度	%					87.5%	70.2%			繰越金
成果目標及び 成果実績1 (アウトカム)		成果目標	応募献詩数 令和10年度までに1,800編	成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 R05 年度	目標最終年度 R10 年度		寄付金		500	企業版ふるさと納税寄付金	
					目標値	編	1,487	1,193	-		-	一般財源	480	630	
		成果指標	応募献詩数	目標値	編	1,700	1,700	1,700	1,800		計	480	1,130		
					達成度	%	87.5%	70.2%	-	-	歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途	
		補足説明	「野田宇太郎文学賞」の開催にあたり、令和4年度は献詩一般の部の募集を中止し、さらに小・中学生の部は小郡市内小・中学生からのみの応募としたにも関わらず、応募献詩数は例年並みとなった。							負担金、補助及び交付金	480	1,130	補助金		
			根拠として用いた 統計・データ名(出典)												
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)		成果目標		成果実績	単位	R03年度	R04年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	投入工数 (単位:人)	計		480	1,130	
					目標値							正職員	0.1	0.1	
		成果指標		達成度	%						再任用	0			
									会計年度月額		0.6	0.6			
		補足説明	根拠として用いた 統計・データ名(出典)								会計年度日額	0			
											計	0.70	0.70		
成果目標及び 成果実績2 (アウトカム)								人件費合計(千円)			2,420	2,420			
								総費用(千円)			2,900	3,550			
								人件費等の修正(千円)							
								総費用(千円)※人件費等修正後			2,900	3,550			

シートNo.	0464307	事務事業名	野田宇太郎顕彰会支援事業			部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館
事業No.	J000916	開始年度	平成4年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	野田宇太郎生誕祭と併せて野田宇太郎文学賞を実施したことにより、地元児童が郷土の偉人について学習することのみならず、全国に野田宇太郎と文学散歩についてのPRを行うことができた。	○	子どもたちが生誕祭献詩に応募することで、郷土の偉人を学ぶことにつながっている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生誕祭は顕彰会役員など関係者のみで行ったが、生誕祭動画を作成し、WEBで当時の様子を伝え、ニーズに反映させた。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	行政が連携することで事業の効果が高まるため支援する。	○	行政が連携することで事業の効果が高まるため支援する。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	顕彰会の事業は、郷土の詩人・文学者である野田宇太郎を顕彰すること、また文学資料館に保管する貴重な資料を有効活用することに繋がるため、支援が必要である。	○	顕彰会の事業は、郷土の詩人・文学者である野田宇太郎を顕彰すること、また文学資料館に保管する貴重な資料を有効活用することに繋がるため、支援が必要である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
事業の効率性	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	顕彰会の事務局を支援し、顕彰業務を推進している。	○	顕彰会の事務局を支援し、顕彰業務を推進している。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当である。	○	妥当である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要なものに限って補助している。	○	必要なものに限って補助している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	令和4年度は野田宇太郎「文学散歩」70年、小郡市市制施行50周年を記念した文学賞を創設し、生誕祭もコロナ前の規模で実施することができた。	○	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生誕祭は関係者のみで行うなど活動の機会が少なかったが、HPなどを使った情報発信に努めた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	献詩の応募には例年並みの応募があり、さらに野田宇太郎文学賞にも139編の応募があった。総合的に見て目標に見合った実績を出すことができた。	○	昨年度の生誕祭献詩を中止したため応募献詩数の減少を見込んでいたが、ほぼ例年とおりの応募があり、成果目標に見合った実績を出すことができた。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
	点検・改善結果	点検結果	令和4年度は、例年の献詩募集に加えて野田宇太郎文学賞の募集を行い、全国から沢山の応募が寄せられた。生誕祭では両賞の表彰式を盛大に行い、野田の顕彰に繋げることができた。		令和3年度は、ほぼ例年とおりの献詩募集数があった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生誕祭は顕彰会役員などの関係者のみで行ったが、生誕祭動画を作成し、WEBで紹介することで検証につなげることができた。	
		改善の方向性	令和5年度は、近年開催できていなかった文学散歩の催行するなど、顕彰事業を進めていく。		来年度は、生誕祭献詩に加え「野田宇太郎文学賞」を開催する予定である。新型コロナウイルスの状況により生誕祭の開催方法を検討しつつ、顕彰事業に取り組む必要がある。	

事務事業評価シート(令和4年度事務事業)

シートNo.	0464308	事務事業名	野田宇太郎文学資料館管理運営事業		部・課・係	教育部	生涯学習課		図書館	
事業No.	J000915	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長	1/2ページ

事業の目的	野田宇太郎文学資料館資料のデータベース化を進め、市民の貴重な財産として保存し、活用・公開を目指す。 また、資料館展示を充実させて、野田宇太郎氏の業績を広く市内外に発信し、その顕彰を図る。									
事業概要	資料館の資料を活用した常設展示や企画展示の充実を図り、野田宇太郎氏の文学活動における功績を再評価する。ホームページにおいて、展示の状況や蔵書の画像データの更新に努め、新しい情報を積極的に発信するとともに、資料の適切な保存を行う。									
根拠法令、関係計画、通知等	小郡市教育大綱 小郡市教育振興基本計画 令和2年度小郡市教育施策実施計画									
活動目標及び活動実績1 (アウトプット)	活動指標	広報及びホームページなどを利用した情報発信情報提供回数		単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		
			活動実績	回	51	46				
活動目標及び活動実績2 (アウトプット)	活動指標			単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		
			活動実績							
単位当たりコスト	算出根拠			単位	R03年度	R04年度				
	X:総費用(単位:千円)／ Y:広報及びホームページなどを利用した 情報発信情報提供回数(単位:回数)		単位当たりコスト	千円	130.0	136.6				
	計算式		X/Y	6,886/51	6,285/46					
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)	成果目標	企画展等イベント満足度 令和8年度まで85%		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		
	成果指標	企画展等イベント満足度	成果実績	%	63	83	R05年度	R08年度		
	補足説明									
	根拠として用いた統計・データ名(出典)	「第15回福岡県ゆかりの詩人を語る会」アンケート 「第2回宇太郎カフェ」アンケート								
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		
	成果指標		成果実績				年度	年度		
	補足説明									
	根拠として用いた統計・データ名(出典)									
予算額・執行額 (単位:千円)	予算状況	当初予算	R03年度		1,642		R04年度		706	
		補正予算					▲ 61			
		前年度から繰越								
		翌年度へ繰越								
		予備費等								
		計	1,642		645					
		執行額	1,286		561					
		執行率(%)	78%		87%					
		歳入予算	R03年度		R04年度		R04年度の主な収入内訳(名称等)			
		国庫支出金	199		69		デジタル田園都市国家構想交付金			
		県支出金								
		使用料・手数料								
		分担金・負担金等								
		財産収入								
		繰入金								
		諸収入								
		繰越金								
		地方債								
		一般財源	1,443		576					
		計	1,642		645					
		歳出予算	R03年度		R04年度		R04年度の主な使途			
		報酬					野田宇太郎文学資料館協力者謝金			
		報償費	24		15		瀬戸内文学館研修会			
		旅費	182		45		展示用消耗品			
		需用費	42		42		企画展委託料			
		委託料	990		139		収蔵作品管理			
		使用料及び賃借料	396		396		瀬戸内文学館会費			
		負担金、補助及び交付金	8		8					
		計	1,642		645					
		正職員	0		0					
		再任用	0		0					
		会計年度月額	2		2					
		会計年度日額	0		0					
		計	2.00		2.00					
		人件費合計(千円)	5,600		5,600					
		総費用(千円)	6,886		6,161					
		人件費等の修正(千円)								
		総費用(千円)※人件費等修正後	6,886		6,161					

シートNo.	0464308	事務事業名	野田宇太郎文学資料館管理運営事業		部・課・係	教育部	生涯学習課	図書館	
事業No.	J000915	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4046	作成責任者	生涯学習課長

項 目			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善	
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	令和4年度は例年より規模を縮小した形ではあったが、企画展を行うことができた。野田の業績を自分の目で見て感じたいという市民のニーズに応えることができた。	○	令和3年度は新型コロナ感染拡大防止のため、資料館の臨時休館等により、展示室等を活用した業績の紹介などが難しかったが、HPなどで紹介することにより、ニーズにこたえることができた。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	資料の適切な保存、展示が必要であるため、市が責任を持って行う必要がある。	○	資料の適切な保存、展示が必要であるため、市が責任を持って行う必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	郷土の偉人を顕彰し、その功績を広め後世に伝えることは文化の発展に必要である。	○	郷土の偉人を顕彰し、その功績を広め後世に伝えることは文化の発展に必要である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
事業の効率性	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		△	新型コロナ感染症拡大防止のため、資料館の臨時休館等により資料の展示等による顕彰活動が難しかった。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	資料を適切に保存するためには、専用の用具が必要ことが多く、真に必要なものの予算となっている。	○	資料を適切に保存するためには、専用の用具が必要ことが多く、真に必要なものの予算となっている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		△	コロナの影響で実施できないものがあり、不用額が生じた。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	新型コロナの影響により、計画的な事業の実施が行えなかったが、ホームページでの情報発信などの非接触型サービスの充実に努めた。	○	新型コロナ感染症拡大防止のため、来館者を対象とする活動の多くが実施できなかったが、ホームページでの情報発信などに努めた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	新型コロナによる制限が徐々に緩和さて、参加者のニーズに合った事業を実施することができた。	-	新型コロナ感染症拡大防止のため条件付きの開催だった。企画展の講演会内容と参加者のニーズと多少ずれが見られたようで満足・ほぼ満足は63%程度だった。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	野田宇太郎文学資料館資料のデータベース化を進め、オンラインによる公開を充実させている。	○	野田宇太郎文学資料館資料のデータベース化を進め、オンラインによる公開を充実させている。
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）					
	課名					
	連番					
	事業名					
	点検・改善結果	点検結果	令和4年度は、規模は小さいながらも企画展を実施し、ギャラリートークや講演会等で野田宇太郎の顕彰を行うことができた。		令和3年度は新型コロナ感染拡大防止のため、資料館の臨時休館等で展示会数やイベントも減り、顕彰活動が難しかったが、野田宇太郎の直筆原稿等をデジタル化してオンライン公開するなど、非来館型の資料提供の向上に努めた。	
		改善の方向性	今後も発生する可能性のある感染症の流行や、距離的・時間的な問題で当資料館まで足を運ぶことができない方に向けてのサービス向上に努める。デジタル資料のオンライン閲覧など、非来館型サービスの充実に引き続き取り組む。		コロナ禍でも提供できるサービスの向上に努め、HPでの積極的な情報発信やデジタル資料のオンライン閲覧など、非来館型サービスの充実に努める。	